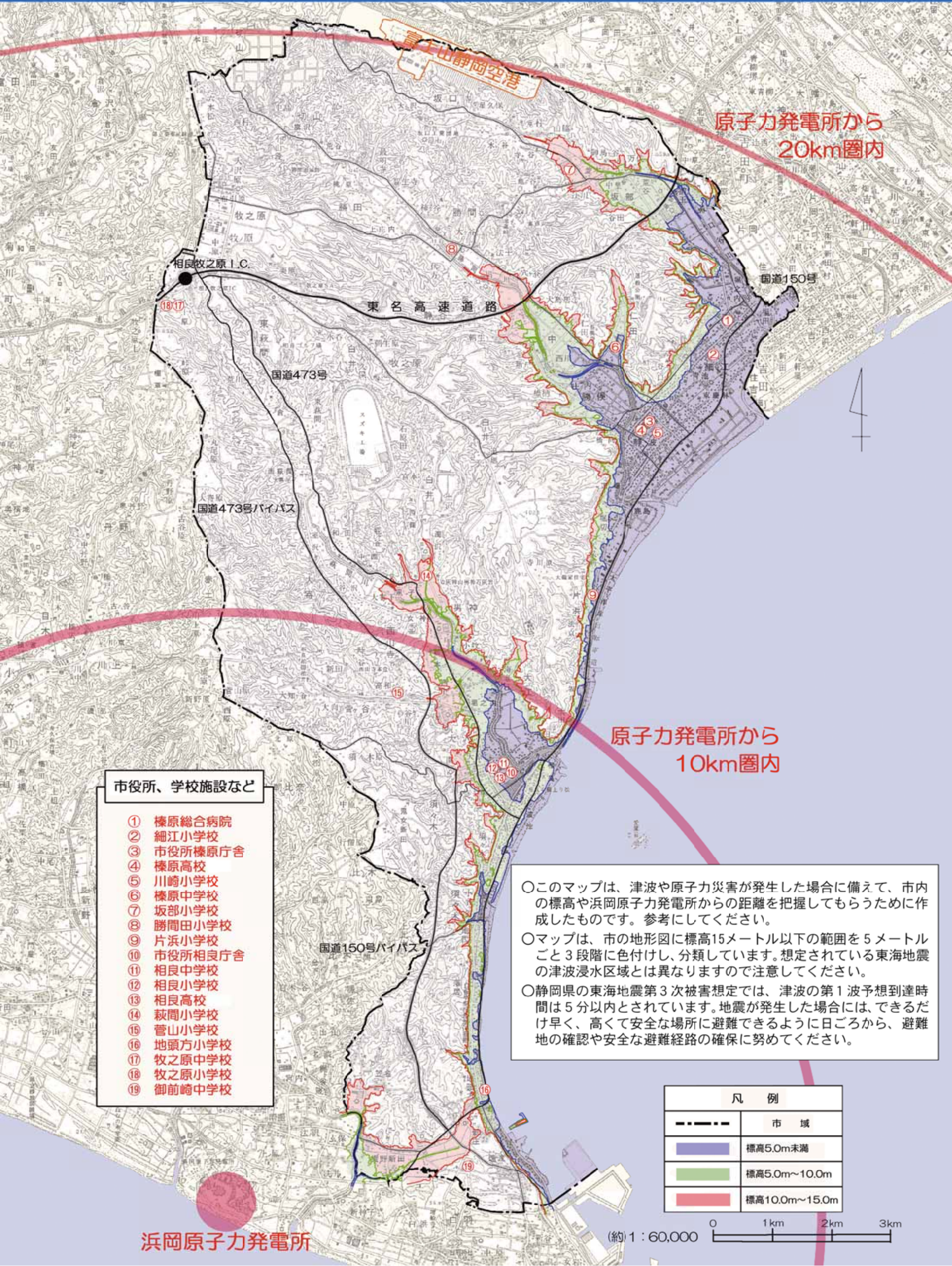


# 牧之原市防災標高マップ

\*取り外して使用してください

問い合わせ 防災課 ☎0056



原子力発電所から  
20km圏内

原子力発電所から  
10km圏内

- 市役所、学校施設など
- ① 榛原総合病院
  - ② 細江小学校
  - ③ 市役所榛原庁舎
  - ④ 榛原高校
  - ⑤ 川崎小学校
  - ⑥ 榛原中学校
  - ⑦ 坂部小学校
  - ⑧ 勝間田小学校
  - ⑨ 片浜小学校
  - ⑩ 市役所相良庁舎
  - ⑪ 相良中学校
  - ⑫ 相良小学校
  - ⑬ 相良高校
  - ⑭ 萩間小学校
  - ⑮ 菅山小学校
  - ⑯ 地頭方小学校
  - ⑰ 牧之原中学校
  - ⑱ 牧之原小学校
  - ⑲ 御前崎中学校

○このマップは、津波や原子力災害が発生した場合に備えて、市内の標高や浜岡原子力発電所からの距離を把握してもらうために作成したものです。参考にしてください。

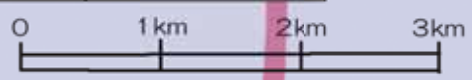
○マップは、市の地形図に標高15メートル以下の範囲を5メートルごと3段階に色付けし、分類しています。想定されている東海地震の津波浸水区域とは異なりますので注意してください。

○静岡県の東海地震第3次被害想定では、津波の第1波予想到達時間は5分以内とされています。地震が発生した場合には、できるだけ早く、高く安全な場所に避難できるように日ごろから、避難地の確認や安全な避難経路の確保に努めてください。

凡例	
-----	市域
■ (Purple)	標高5.0m未満
■ (Green)	標高5.0m~10.0m
■ (Red)	標高10.0m~15.0m

浜岡原子力発電所

(約) 1 : 60,000





**市長の被災地訪問**

4月22日から24日の3日間、西原市長は職員3人とともに、南相馬市、岩手県陸前高田市などの大震災の被災地を訪問し、本市の災害対策のために現地視察を実施。このほか、宮城県石巻市・女川町・仙台市、静岡県の現地支援調整本部のある岩手県遠野市などを視察しました。

現地入りした市長は、実際に被災地を目の当たりにし、がくぜんとした表情で被災地の現状を受け止めました。

南相馬市と同様に原子力発電所の近隣市であり、長い海岸線を抱える本市にとっても、南相馬市の現状は「対岸の火事」ではありません。

南相馬市役所で桜井勝延南相馬市長からあらためて、被害状況や福島第一原子力発電所における東京電力の対応状況を知り、西原市長は、「時間はかかりますが、一つ一つ問題を洗い出し国に改善を求めていきたいと思います」と話し、今後の復興支援と防災の両面での協力を固く誓いました。

その後、津波の被害を受けなかった女川原子力発電所がある女川町を訪問。原子力発電所には立ち入れず、市街地から15キロメートル離れた立

**市職員の派遣**

① 4月22日～4月3日 職員4人  
\*福島県南相馬市への物資輸送に同行し被災地の状況確認。  
職員1人

② 4月8日～4月13日 職員1人  
\*市茶農協組合などの協力による。

**支援物資の提供**

① 3月15日 毛布1000枚  
簡易トイレ100基

② 3月24日 非常食4500食  
水2リットル840本  
軽油4000リットル  
灯油3000リットル

\*吉田町住吉の有限会社三盟石販(山本富美子社長)の協力により、吉田町と合同で。

④ 4月22日～4月24日 牧之原茶約70キロ  
急須50個

\*市茶農協組合などの協力による。

**避難者への公営住宅などの住居の提供**

⑤ 5月13日～5月21日 職員1人  
\*岩手県内にて被災地の行政の支援を行う予定。

⑥ 5月13日～5月21日 職員3人  
\*市長に同行し福島、宮城、岩手の3県の被災地を訪問。

⑦ 4月17日～4月21日 職員1人(保健師)  
\*同県内にて避難所の衛生状態の管理や被災者の健康調査、家庭訪問などに従事。

⑧ 4月22日～4月24日 職員3人  
\*市長に同行し福島、宮城、岩手の3県の被災地を訪問。

⑨ 5月13日～5月21日 職員1人  
\*岩手県内にて被災地の行政の支援を行う予定。

**義援金の協力**

義援金は赤十字社を通して被災地の復興支援に役立てられます。皆さまからの温かい支援に感謝申し上げます。  
義援金受付額 700万4018円  
\*5月9日現在の金額です。

**地頭方小学校の津波避難訓練実施**

地頭方小学校は4月14日、津波避難訓練を実施しました。学校は、地震による津波の発生を想定し、校舎2階の避難場所を東日本大震災を受けて、校舎3階に変更しました。校庭で活動中に地震が発生したと想定し、全児童約240人は駆け足で避難しました。東海地震では5分以内に津波が到達すると予測されているため、避難にかかる時間を計測したところ、避難完了まで3分43秒でした。

今後、学校では地元区や関係機関などと協議しながら避難場所などを見直します。

このほか、市では全区を対象とした「地域防災座談会」を開催し、自主防災体制の強化などを行います。

3月11日の東北地方太平洋沖地震の発生から2カ月が経ちました。国内や世界各地から、被災地へ支援の輪が広がっています。

市では「牧之原市被災者支援対策本部」を設置し、震災への対応を行っています。

**支援物資の提供**

① 3月15日 毛布1000枚  
簡易トイレ100基

② 3月24日 非常食4500食  
水2リットル840本  
軽油4000リットル  
灯油3000リットル

\*吉田町住吉の有限会社三盟石販(山本富美子社長)の協力により、吉田町と合同で。

④ 4月22日～4月24日 牧之原茶約70キロ  
急須50個

\*市茶農協組合などの協力による。

**市職員の派遣**

① 4月22日～4月3日 職員4人  
\*福島県南相馬市への物資輸送に同行し被災地の状況確認。  
職員1人

② 4月8日～4月13日 職員1人  
\*市茶農協組合などの協力による。

**避難者への公営住宅などの住居の提供**

⑤ 5月13日～5月21日 職員1人  
\*岩手県内にて被災地の行政の支援を行う予定。

⑥ 5月13日～5月21日 職員3人  
\*市長に同行し福島、宮城、岩手の3県の被災地を訪問。

⑦ 4月17日～4月21日 職員1人(保健師)  
\*同県内にて避難所の衛生状態の管理や被災者の健康調査、家庭訪問などに従事。

⑧ 4月22日～4月24日 職員3人  
\*市長に同行し福島、宮城、岩手の3県の被災地を訪問。

⑨ 5月13日～5月21日 職員1人  
\*岩手県内にて被災地の行政の支援を行う予定。

**義援金の協力**

義援金は赤十字社を通して被災地の復興支援に役立てられます。皆さまからの温かい支援に感謝申し上げます。  
義援金受付額 700万4018円  
\*5月9日現在の金額です。

⑨被災地に向け出発 ⑩現地のあまりの悲惨さにくぐぜんとする西原市長 ⑪女川町の市街地。元の街並みが確認できない ⑫高台から見た陸前高田市の様子。道路が確保され、少しずつだが復興に向け進んでいる ⑬南相馬市で検問にあたる警察官 ⑭桜井市長と面談する西原市長。固い絆で結ばれた ⑮避難所で被災者の話を聞く市長ら ⑯鉄塔も無惨な姿に ⑰陸前高田市の名勝「高田松原」で1本だけ残った松。希望の松 ⑱建物の上に住宅が ⑲県支援本部のある遠野市で職員から説明を受ける市長



①軽油と灯油を積んだ2台の南三盟石販の輸送車 ②夜7時到着後、すぐに給油作業に入る。軽油はがれき除去の重機や公用車などの燃料に。灯油は避難所の暖房に使われた ③陸前高田市の避難所で牧之原茶を被災者に手渡し、励ましの声を掛けた ④岩手県へ派遣された3人の職員 ⑤山積みされた大量の支援物資 ⑥用途別に細かな仕分け作業が行われる ⑦被災者の手元に届いた衣料 ⑧～⑩は岩手県内にて撮影 ⑪防風林のはるか上を越えて押し寄せてくる津波(南相馬市)

